



第3次派遣チームからは
女性職員が加わりました

2011年4月11日 (財)日本老人福祉財団
103-0012 中央区日本橋堀留町 1-7-7
Tel:03-3662-3611 Fax: 03-3662-3656

地震発生から1か月3次派遣チーム3名出発

地震発生から1か月経った今日4月11日9時30分、第3次(ゆうゆうの里)震災支援派遣チームが東京日本橋の財団本部前を出発しました。第3次派遣チームは、隊長にKさん=佐倉(ゆうゆうの里)ケアサービス課主任、隊員には2名の女性職員、Aさん=湯河原(ゆうゆうの里)ケアサービス課、Yさん=浜松(ゆうゆうの里)生活サービス課で構成されています。

要介護状態で入浴介助が必要な女性の被災者対応のため、〈ゆうゆうの里〉派遣チームとしては初の女性隊員が2名加わりました。現地には、プレハブとはいえ暖房のきいた宿舎も完成したため、女性隊員の参加に至りました。

これで同性介護も出来るようになります。被災地でも(だからこそ)ケアの質は大事です!



入浴介助のニーズ多い

派遣隊長レポート⑥ 【10日 21:43】

●本日は快晴。本日も(ゆうゆうの里)支援チームと静岡県のボランティア女性介護士の5名で、一人でも多くの笑顔に出会えるよう大槌町に向かって出発。遠野から釜石に向かう沿道には、「がんばろう岩手」「負けないぞ東北」など書かれた垂れ幕が掲げられている。その中に支援に来ている人に向けられたメッセージも見られる。そのメッセージに答えるよう頑張るぞー。



●明日は第3次隊が到着するので新たな下地作りも頑張るぞー。

入浴介助

●昨日、新規でお約束した、ケアプラザおおつちに避難されているHさんのもとへ向かう。静岡県ボランティアの女性介護士のKさんと、そのボランティア団体に取材でついでに静岡のテレビ取材班も同行となりました。

●少し早めの到着ですが、既にHさんの息子さんが準備を下さっていました。目が合うとHさんの表情が柔らかくなりました。立ち上がりは援助が必要ですが、歩行は杖(しっかりした棒)で、ゆっくりだが確実に歩きました。



自衛隊の入浴施設(テント)へ到着

●女性介護士Kさんに入浴介助はお願いします。ゆうゆうメンバーは、Hさんが昨日希望されていた衣類を、自衛隊の物資テントへ探しに向かいました。

●静岡県社協ボランティアの方々に協力していただき、山積みになった物資の中から、目的の品を手に入れることが出来ました。入浴後、サイズが合うかどうか、腕を通していただき、「あーあったかい。これなら軽いし問題ないです。ありがとうね。」と笑顔がこぼれた。早速そのうち1枚をはおられ、車に乗り込まれました。

●「自分でできる事はやりますから。でも本当にありがとう。何年かして、また会えることができればいいのにね…」爪切りをしようとお声掛けすると、Hさんは微笑んで答えました。

安渡小学校での入浴お誘い

●昨日のニーズ調査の時にお会いしたお二人の方の入浴お誘いに、安渡小学校避難所へ向かいました。教室に入ると覚えていて温かく迎えてくれました。入浴介助については、「とてもありがたい。楽しみにしている。」と話され、入浴は11日実施の予定を組みました。

●入浴介助について、「この人も足が悪くて困っているので入れてあげて欲しい」と一人の女性を紹介して下さいました。両膝が悪く曲がらない方です。昨日息子さんが温泉に連れて行ってくれたのだが、「お風呂に入るにも這ってでないと入浴できない。息子は一緒に入ることができないので困った。」と話されていました。入浴のお誘いをしました。

新規避難所でのニーズ調査

●大槌稲荷神社(安渡小学校からすぐ)。現在避難されている方は72名。避難されている中には認知症の方も居られ、親戚の家のお風呂で入浴していますが、「入れるのに大変。」とのこと。「入浴のお手伝いをしてもらえるのならありがたいことだ。」と、避難所の代表の方。大槌稲荷神社も入浴支援の必要性がかなり大きい避難所であることがわかりました。

うれしい出来事

●遠野市浄化センター近くのショッピングセンター「アクテ」で夕食の買い物をするため駐車場に車を停め横を見ると、ベンチになんと!先日入浴介助を行ったMさんがいらっしゃるではありませんか!!

●Mさんの前に行くと、一瞬驚いた顔をされましたが、すぐに笑顔で握手を求めてくれました。「前はありがとう、ありがとう!」と入浴介助のお礼を言われました。店内では娘さんと出会い、「大変お世話になりました。ありがとうございました」と深々と頭を下げお礼を言われました。支援チームとして岩手に来て本当に良かった、と実感できた瞬間でした。

11日も入浴支援と新規ニーズ開拓

●11日8時には遠野市拠点を出発し、1班(N、I)は大槌町ボランティア協議会等で情報収集交換。2班(K、KT)は入浴支援を行います。

第3次派遣に応募し、隊員になりました

●東北地方太平洋沖地震が起きてから、連日被災地のニュースを目にしています。「他人事ではいけない!私も何かしたい!」そう思っているうちに一緒に働いている仲間が〈ゆうゆうの里〉第1次支援隊の一員として出かける話を聞いて、いてもたってもいられなくなりました。

●「私も少しでもいいから役に立ちたい!」施設長のところへ行って「支援隊の一員としてお手伝いがしたいのですが女性ではダメですか?」施設長からの答えは「うん、わかった。女性スタッフからも希望が出たことを本部に伝えるからね。いちばん最初に手をあげてくれてうれしいよ。どうもありがとう。」でした。

●今朝(10日)、壮行会を開いてもらって、たくさんの方の励ましの言葉をいただきました。少し恥ずかしく感じました。

●第1次支援隊の皆さんが、現地の方ととても良い信頼関係を築き上げ、第2次支援隊の皆さんが大切に引き継がれています。

●私は第3次支援隊の一員として、信頼関係をさらに深められるようになります。それから女性だから気付ける事もあると思うので、1週間がんばってきます!(湯河原(ゆうゆうの里)ケアサービス課A)

募金7日より88万円増え898万2007円になりました

4月11日までの募金
累計898万円

東日本大震災救援募金(義援金)募集中

〈ゆうゆうの里〉及び本部事務所に募金箱を設置しています

☆寄付先や用途を指定される場合、寄付金控除のための領収書が必要とされる場合は、事務所へお申し出ください。

☆集まった募金は、日赤、共同募金会、NPOなどに送金し、被災地の救援活動や復興資金に充てます。